

技術・家庭科（家庭分野） 2年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 2編 私たちの衣生活	4月～6月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり目的に応じた着用、個性を生かした着用及び衣服の適切な選択について理解できる。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	衣服の選択、手入れについて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
2章 生活を豊かにするために（布を用いた製作）	6月下旬～10月上旬	製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに用具を安全に取り扱い製作が適切にできる。	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた製作について、学んだことを製作計画や製作や生活に生かすことができる。	より良い生活の実現に向けて、布を用いた製作について、主体的に取り組んだり振り返って検討して、生活に生かそうとしている。
1章 3編 私たちの住まい方	10月上旬～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解することができる。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。 	・家族の安全を考えた住空間の整え方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	家族や地域の人々と協働しより良い生活の実現に向けて住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、学んだことを生活や学習に生かすことができる。
4編 私たちの消費生活と環境	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの購入について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 ・自立した消費者としての消費行動について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 	より良い生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って検討して、生活に生かそうとしている。
具体的な評価の方法		・定期テスト・作品・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察	・定期テスト・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容	・定期テスト・作品・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察・自己評価